

## 追求する力

**市長** 本日はようこそお越しいただきまし  
た。まずは今年(2017年)のニューイヤ  
ー 駅伝区間賞おめでとうございます。

戸田選手にとって走ることに魅力はどんなこ  
とですか。

**戸田選手** 競技者の面から言うと、毎回ベ  
ストを出すっていうのは難しいんですけど、だ  
からこそベストが出せたときの達成感とい  
うのが凄くて、さらにそこで満足して終わ  
りゃなくてまだ先に進める、まだ自分は可  
能性があるんじゃないかと、どんどん追求で  
きることが走ることのいいところかな、と思  
います。

**市長** 成果が出た時の喜びと同時にもつと先  
にこういうと思えるおもしろさがあるのだす  
ね。陸上を始めたきっかけは？

**戸田選手** 小学校は野球のクラブチームに  
入っていましたが、そこで仲が良かった友達  
に市のリレーの大会に出ないかと誘われて、  
補欠ということで県大会の100メートル走  
に出たんです。野球の方はちよつと芽が出  
ないな、と思って。

きっかけはその程度です。  
**市長** それで中学から陸上部に入部されたの  
ですね。

**戸田選手** 100メートルの短距離から始  
めました。はじめは女子の先輩より遅かっ  
たです。それで中学1年の市の記録会で  
1,500メートルと100メートルの2つ  
走れと先生に言われて走ったら1,500  
メートルの方が速かったんです。

2017年ニューイヤー駅伝初出場で区間賞を  
獲得し、今後益々活躍が期待される本市出身の  
戸田雅稀選手(日清食品グループ)にお越しい  
ただき、陸上に懸ける思いや、世界に向けての  
目標についてお話を伺いました。

## 舞台へ



**市長** 高校で東京農大二高を選ばれたのはど  
のような理由からですか。

**戸田選手** 東京農大二高は中学3年の時に先  
生が誘いに来てくれましたので、迷わず決め  
ました。

**市長** 高校2年生のときの駅伝では、3区  
で21位から9位の12人抜き、3年生でも  
1,500メートルでインターハイを制覇さ  
れました。ご自分でも高校時代に大きく伸び  
た感じがあるのでは。

**戸田選手** そうですね。高校3年間でここま  
で成績を残せるとは思っていませんでした。

**市長** 大学時代、1,500メートルでの2  
年連続制覇は凄いですね。

**戸田選手** 1,500メートルでは力だけ  
じゃなくて、感覚でここからならいけるん  
じゃないかと駆け引きの面が結構かわつ  
てくるので、自分は中学、高校と経験がある  
のでその点で有利だったかな、と思います。

### 常に危機感をもつ

**市長** 駅伝で20キロメートル走ることに  
1,500メートル競技との1番の違いはな  
んですか。

**戸田選手** 1番はスタミナですね。また、駅  
伝はロード(道)、1,500メートルはト  
ラックなので、走り方も全然違ってきます。  
ロードは地面も固いですし、風もあつたり  
で、難しいです。

**市長** 特にどのあたりが難しいですか。

**戸田選手** トラックは1周400メートルで  
すが、ロードになると1キロとか5キロ先と  
か、おおまかな距離表示しかないのです、自分